

平成30年度 「国有林モニターアンケート(第2回)」調査結果

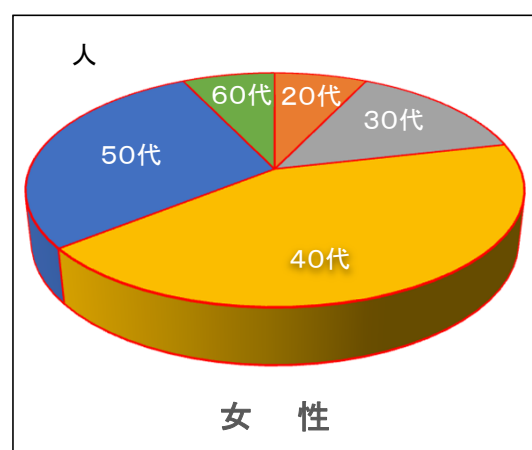
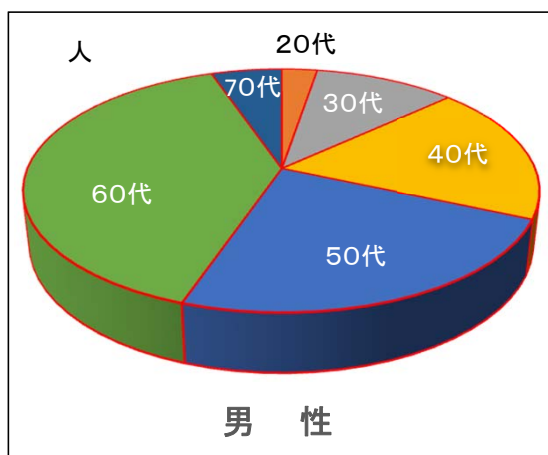
近畿中国森林管理局では、国有林モニターにご登録いただいている皆さまから、今後の国有林野の管理経営や広報活動の参考にさせていただくために、以下のアンケートにご協力いただきました。

今回は、12月に送付させていただきました「平成29年度 国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」の内容を中心として設問を用意し、記述での回答箇所を設けましたが、いかがでしたでしょうか。

調査時期	平成31年1月
調査方法	アンケート用紙の郵送による回答、ホームページフォームでの回答
回収状況	アンケート依頼モニター数 68名
	アンケートの回答 52名
	アンケートの回答率 76%

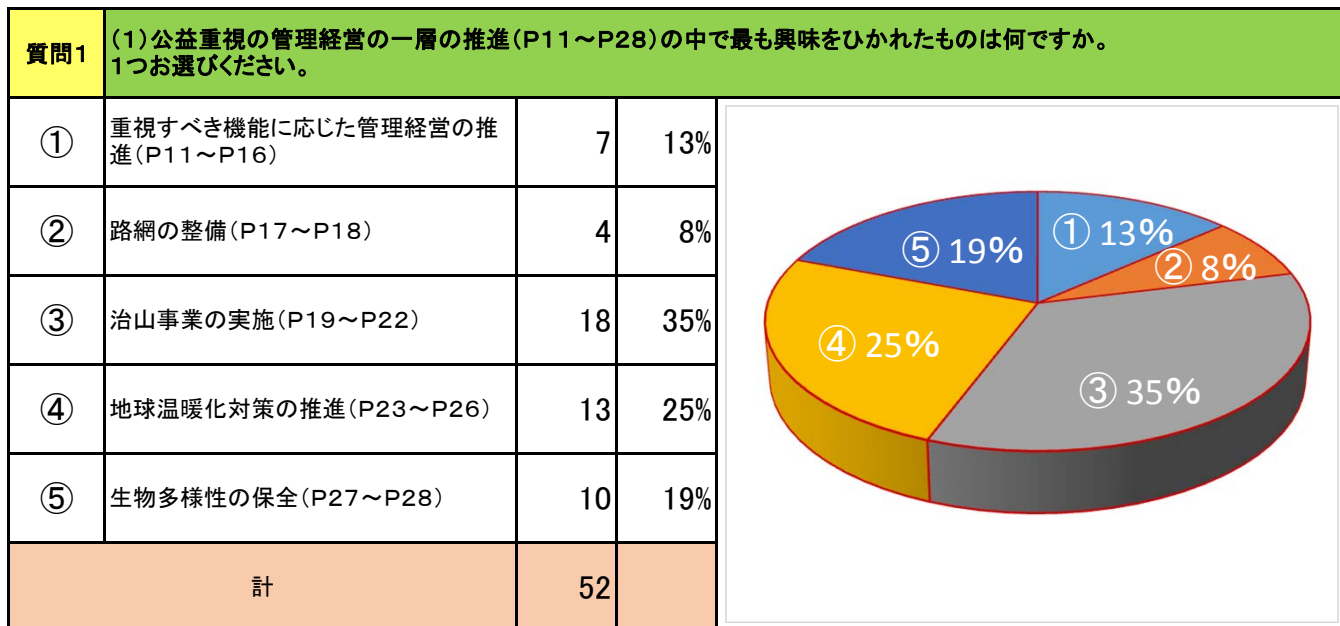
ご回答いただいたモニターの年代別構成 (人)

区分	男性	女性	計
10代	0	0	0
20代	1	1	2
30代	4	2	6
40代	7	6	13
50代	9	4	13
60代	15	1	16
70代	2	0	2
計	38	14	52



1 国有林野の管理経営に関する基本方針に基づく管理経営の推進(P10～P53)

(単位：%)



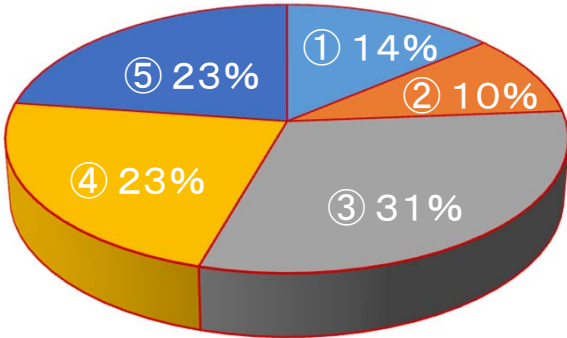
異常気象による災害がたびたび発生しているため、防災対策や異常気象の原因の一つとされる地球温暖化対策に関心が集まったものと考えられます。

質問1	質問1で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
①	<p>各管内での人工林、天然林の割合が違い、地域差が大きいことがわかった。地域の特徴に基づき施策を実施していることが理解できた。</p> <p>① 北海道をはじめとして、北・東日本など寒冷地に天然林の比率が多い事が森林資源の現況から一目で理解できて興味深かった。時代背景や気候にも影響しているのかもしれない。</p> <p>① 住居が近い山は土壌調査をして、土壌が弱い山間部から斜面の間伐を行い、災害が起きにくい強い土づくりをしてほしい。特に広島市内。地形が三角州なのでおそらく土壌が弱く、その中人口増加に伴い、土壌が弱いのに山を切り崩して無理して住宅を作っているからこんなに広島は災害が起きると思う。</p> <p>② 重視すべき機能に応じた管理経営だと、私の住む瀬波川の上流の国有林(自然維持タイプの森林)は、いつまでたっても日があたらない。このタイプの森林にも目を向けていただくよう、自然環境を保護しながら森林保全できるような路網の整備が必要ではないかと思う。</p> <p>② 路網の整備が、高性能林業機械の安全で効率的な作業方法、普及に結びつく。</p> <p>② 協定対象区域の拡大と整備が必要だと思われます。</p> <p>② 一度作った道を維持すること、それは並大抵の努力ではないと思う。特に住民の重要インフラである場合、定期的な補修や巡回が大事になると思う。官民垣根を越えて森林、山の道路網整備にこれからも邁進してもらいたい。</p> <p>③ 安全で安心できる暮らしを確保する事が重要。</p> <p>③ 最近の自然災害の頻発、巨大化に対する施策・状況が良く分かり、力強く感じた。</p> <p>③ 近年台風などで地域に被害が出ているのをニュースで見ます。それと同時に山の管理がどうなっているのかが心配であります。伊豆の方では山を切り崩して太陽光パネルを設置する韓国業者が地元の反発を受けていることや、宮崎で自分の山の木を勝手に切って売っている業者もいる話もありました。所有者不明の山林は法手続き(法改正)で国有化するなどどうですか。</p> <p>③ 最近、多くの自然災害があったので、治山事業は確実に実施してほしいため。</p> <p>③ 台風、地震、大雨等自然の脅威を感じる事が多く、また犠牲者もたくさん出ているので安心、安全な防災対策が急がれているため。</p> <p>③ 災害を防ぐためにも治山は有効だと思います。</p> <p>③ 昨年は災害が多く発生し、今後も対策次第では、増えていくことが予想されるので。</p> <p>③ 治山事業は、我が国の財産である国有林の基盤となるものであるから。「大山治山事業100周年記念事業の開催」では、近畿中国森林管理局が大正6年から治山事業に着手して、100年も継続して山地災害の防止に努めているとのことは、驚きを持って知った。それほど前から黙々と大山の国有林を守ってこられたことに、敬意を払わずにはいられない。また、一昨年の九州の豪雨被害にあった森林の早期復旧事業に着手し、地元の方々との連携を取りながらの実施から、大事な視点を基盤にしておられることもわかった。</p> <p>③ 災害を防ぐために治山事業は国としてきちんとして頂きたいです。</p> <p>③ 大山国有林の写真の17年で、こんなにも変わるのかと感動しました。文章だけ読むだけではわからないので、写真があるとわかりやすいと思います。</p> <p>③ 昨年の西日本豪雨で甚大な被害を受けたので、二度と災害を起こさないためにも必要だと思ったから。</p>

質問1	質問1で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
	<p>③ ヘリコプターによる被害状況調査のグラフと九州北部豪雨における取組事例に目が向かった。昨年度までの実績だが、今年度は災害が多く発生して、ヘリコプターが飛び立つ回数が増えたのではと推定する。ドローンなどの小型無人機を使用しているのかなと思った。</p> <p>③ 自然災害への対応に苦心されている現況にふれ、共有部分が多々感じられた。特に間伐等の森林整備への重要性を改めて認識した。</p> <p>③ 土砂災害等の防止の重要性があるので。</p> <p>③ 治山事業を計画的に進められていることは理解できるのだが、近年、毎年のように大規模な自然災害が発生し、その復旧に係る時間や予算を考えると、果たして、本来の治山事業の計画がその通りに機能しているのかと、不安になる。</p> <p>④ 森林の地球温暖化対策機能である炭酸ガス吸収効果に関心があります。</p> <p>④ 地球温暖化防止に向けた年間の間伐等実施に対して、28年度、29年度と共に積極的に数値より目標値に近づいていることを感じます。</p> <p>④ ダムを造るにあたって、木材が使われていることを初めて知りました。循環型社会について考えさせられました。</p> <p>④ 地球温暖化が近年急速に進み大変深刻な状況にあり、国を挙げての早急な対応が必要となることから、国有林野事業においてどのような取組が行われているのか関心がありました。</p> <p>④ 温暖化対策の必要性は感じつつも、国の施策が今一つわからなかったため、具体的な取組みを心強く感じた。</p> <p>④ 地球温暖化防止については、前々から興味を持っており、今後の動向に注目したいと思っています。</p> <p>④ 地球温暖化対策については、今後も継続、発展させて実施していただきたい。</p> <p>④ 私達が考えるべき大きな課題であり、対策の重要性を改めて感じると共に危機感を持ちました。</p> <p>⑤ 当然のことながら、地球や森林は人間だけのものではない。むしろ、森林は動物たちが住みかとしている場所である。したがって、人間の都合ではなく他の動物たちの営みを守る活動を、今後も続けてほしい。</p> <p>⑤ 外来種が増えたのと、自然破壊で生物が減少する心配がある。</p> <p>⑤ 国民が国有林内に立入ったり、関与するには、生物多様性の保全への取組みが一番良いのではと思います。</p> <p>⑤ 地球環境温暖化についても気になりますが、人間の都合だけで考えてはいけないと思っているので、命の連鎖は考えておきたい。</p> <p>⑤ 「生物多様性の保全」の主體的な取り組みを、私は環境省ではなく林野庁が中心となって実施していることは、とても素晴らしいことだと思います。これからも地域やNPO法人、ボランティア、学校と連携して希少種の保護や植生の復元、シカ被害対策等に積極的に取り組んで欲しいと思いました。</p> <p>⑤ 生物多様性の保全ももちろん大切だが、シカを始めイノシシ等による森林被害を受けている状況の中で、有害駆除として罠を仕掛けて、殺生している一方で、保全は矛盾を感じる。</p> <p>⑤ 全て重要なことと思いますが、森林生態系を守ることと思います。特定の種が増えすぎるのも、レッドリストになるようなことも避けたいものと思います。</p>

(単位 : %)

質問2	(2) 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献(P29～P40)の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。		
①	林業の低コスト化を実現する施業モデルの展開と普及(P29～P32)	7	14%
②	林業事業体の育成(P33～P34)	5	10%
③	民有林と連携した施業の推進(P35～P36)	16	31%
④	森林・林業技術者等の育成(P37～P38)	12	23%
⑤	林業の低コスト化等に向けた技術開発(P39～P40)	12	23%
計		52	



※四捨五入により100%にはなっておりません

国有林野と民有林野が近接している地域での路網の接続をはじめとする施業集約が指示されたと考えられます。

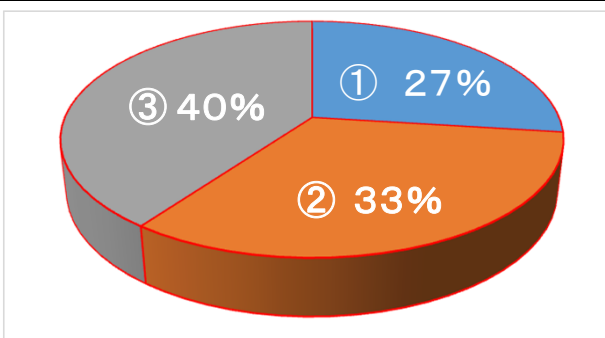
質問2	質問2で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
	<p>① 森は勝手に生えて形成されるのではなく、コンテナ苗を植えたり、植樹する植物を選んだり、苦労や工夫が学べたところが良かった。</p>

質問2

質問2で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。

- ① コスト意識についてや民有林との連携について関心を持ちました。
- ① 国内だけでなく、今後海外から安くてよい木材が入ってくる可能性が高いため。
- ① やはりコストを低く抑えることの追求が必要です。
- ② 林業従事者の減少、高齢化は林業全般の最大の課題であり、組織の強化や人材育成への取り組みが良く分かった。
- ② 林業事業体の生産性の向上のために、中部森林管理局では、「生産性向上実現プログラム」を立ち上げ、その実現に向けてのプログラムに取り組む等、創意工夫を図る努力を感じる。
- ② 林業の従事者・技術者が益々重要だと思うので、育成に力を入れるのは良いことだと思います。
- ② 林業事業体の創意工夫の重要性
- ③ 国有林と民有林の連携により林野(国土)の保全は重要。
- ③ 瀬波川上流の国有林は、民有林を通らないと目的地に着かない。このことから、民有林と連携した施業を推進し、安全・安心の地域づくりが急務である。
- ③ 効率化を図るには、民有林との連携が必要ではないか。
- ③ 民有林と国有林は一体となつてこそ、効果的なものとなるので。
- ③ 日本は民有林が多いので、無駄なく木材の有効利用を進め、国産木材の積極的な流通を図ってほしいと思います。
- ③ 私有林の中で整備されずに放置されるものがこれから増えて行くと思います。買取などの方法も含めて、国土の保有を考えたいと思います。
- ③ 官だけでは、やはり限界があるように思います。積極的に活用すべきだと思いました。
- ③ 民有林との連携事業は、無駄を省き、効率化に繋がる素晴らしい事業だと思う。北海道後志の事例では、地元の漁業協同組合も参加したとある。漁業協同組合との連携がなぜ一体感のある森林整備に繋がるのか、と疑問に思えた。
- ③ 正に、将来に向けて官民の連携が不可欠と痛感させられた。
- ③ 民有林の場合、大企業や個人もあり、その時の経済・経営の状況により、一定の管理ができない事例もありますので。
- ④ 持続可能な林業を考えた場合、なり手の育成と省力化、力仕事でない林業への発展が必要に感じています。
- ④ 4つの大学で連携して人材育成するのは良いことですが、山梨や静岡大学などは、森林分野に詳しく取り組んでいるのかなあと思いました。多くの大学と連携して人材を多く作って欲しいと思います。
- ④ 4大学との人材育成の取組はとても重要です。もっと全国的にさらに私大にも育成範囲を増やして欲しいです。
- ④ 私はやはり小学校の段階での森林環境教育の中で「林業」の魅力を小学生に少しでも植え付けることで、若い世代の森林・林業技術者が少しでも増えることを期待します。
- ④ 人材育成プログラムは、とても必要なことだと思いました。大学側も関心があるみたいで、是非今後も実習、講義を続けて行ってほしいです。
- ④ 若者に是非後継者として森林・林業に携わる仕事に就いてもらいたいと考えます。男女の区別なく、年齢不問で技術者が未来の森林業に携わってくれることに期待します。
- ④ 継続した施策を行うためには、技術者が絶えず必要であるため。
- ④ 「山岳域における新たな人材育成プログラム」には、大きな期待を寄せている。林業に関わる専門家を育成する機関を設けることが、一般の学生への周知に繋がり、それが将来の選択肢の一つになることこそが望ましいと思う。また、フォレストターの活動についてなのだが、全く見えてこない。特に近畿中国の地域では、その活動や人員が不足しているのだろうか。活動については、一般にも周知してほしい。
- ④ すべての事柄にも共通する事ですが人材を確保して教育・育成がないと話が始まらない事です。森林・林業に興味を抱く人材を林業高校時代から育成する事が大切だと思います。
- ⑤ スギ2,500本/haが一般化しているが、その後の間伐等を考えると手間がかかる。低密度植栽が本格化できれば省力化につながる。
- ⑤ 大学や試験研究機関と協力して、林業の低コスト化に向けた技術開発を行うことはたいへんいいことである。しかし、それだけではなく企業の技術を活用することはできないのだろうか。
- ⑤ 日本の林業を取り巻く様々な課題がある中、林業の低コスト化も大変重要な課題であり、具体的にどのような取組(技術・開発等)が行われているのか興味がありました。
- ⑤ 実際の技術の一端にふれて、具体的なイメージが湧いた。
- ⑤ 低コストでできれば林業をしたいと思う人が出てくる希望が持てる。
- ⑤ 林業に対するイメージが低下しているから。伐採や木材の切り出しなどに高額な費用がかかるというイメージがあるから。
- ⑤ 技術者を育成しても、ただでさえ危険で、まともにも休みも無く、林業機械激高、給料安、悪天候では仕事ができない(その期間は収入がない)などのブラック職種にも関わらず、食べていけるだけの収入がないと誰もしない。国産の木に対してや林業機械購入、労災補償補助、林業労働者年金の設立など、国の補助金が必要。結局、国産木材をもっと高く売れる施策や補助、用途の拡大が必要と思う。
- ⑤ 日本の林業が廃れてしまったのは人件費の高騰による部分が大きいと思う。新しい技術を導入して、効率よく林業を推進してもらいたい。

質問3 (3)国民の森林としての管理経営(P41～P53)の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。			
①	双方向の情報発信(P41～P42)	14	27%
②	森林環境教育の推進(P43～P46)	17	33%
③	森林の整備・保全等への国民参加(P47～P53)	21	40%
計		52	



モニターの皆さまがお住まいの近くで、参加ができそうな森林整備等のイベントを知りたいと考えられたのではないのでしょうか。

質問3 質問3で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。	
<p>① 広く地域の方々に国有林の重要性、森林に対する情報の提供に努めてほしい。</p> <p>① 国有林モニター制度では、身近な国有林の現状を伝え、そして何ができるか、何か協力してやれることはないか情報伝達することで、これまでにない新しい発想の管理経営のあり方があるのではないかと思います。これは重要なことではあると思うが、一方通行になっていないか不安である。近畿中国地方重視は仕方のないかもしれないが、近畿中国森林管理局職員にも近畿中国の端、石川県瀬波川上流の国有林を一度見に来てほしいと願う。</p> <p>① 情報発信が少なく、モニターにならないとまったくわからないように思えます。</p> <p>① 林業関係者ばかりではなくて、国民の意見が反映される、国有林モニターを今後とも継続して欲しいと思った。</p> <p>① 双方向の情報を把握して、何を望んでいるかがわかる三方皆よしを目指す。</p> <p>① 知らせる、知る両方大切だと思います。</p> <p>① モニターなどを通じた意見や交流、情報発信が必要です。</p> <p>① 国有林モニター会議の内容がわかってよかったです。近ければ見学できたらいいなと思います。</p> <p>① 望ましいのは双方向の情報発信であるが、現段階では、森林業については、林野庁等からの情報発信が主で、国民は受信する側でしかないと感じます。</p> <p>① 国民の森林としての管理経営や国民視点に立った行政の推進が必要。</p> <p>② 自分自身もそうですが、最近の子供たちもかなり森林に遠くなり、関心が薄くなっているように感じます。</p> <p>② 他の省庁行政に比して森林行政は、十分国民に理解されていないと感じている。小中学校での学校教育から理解推進が必要である。</p> <p>② 都市部では森林が少なくなったとはいえ森林大国の日本において、身近な森林を活用した森林環境教育は地道ではありますが、大変意義のある取組だと思います。</p> <p>② 学校教育の中で、是非とも位置付けたいと思います。小学校から国語科、社会科、総合的な学習の時間で位置付けたい内容です。</p> <p>② 小さいころからの啓蒙活動が必要だと思いました。</p> <p>② 「教育関係機関等との連携による森林環境教育の取組状況」によれば、「その他」の回数を除けば、小学校が群を抜いている。森林教室や自然観察会等が授業の一環として取り入れられているからであろうが、各所からの報告から、有意義な実践がなされていることを知る。教育の初期の段階で、感動をもって知ることの大切さが学べたらと思う。</p> <p>② 「こたま通信」で登場してくる箕面森林ふれあい推進センターのような先進的な森林環境教育の拠点が、全国各地にできれば「林業」に興味・関心を持つ若者も増えてくると思うのですが。</p> <p>② 教育において低年齢から森林に親しむことが大切だから。</p> <p>② 小学生教育の一環に、森林教室等の体験を取り入れて欲しい。</p> <p>② 教育の推進は今後も継続することが、大変必要だと思ったため。</p> <p>② 私の幼少の頃には近くの鎮守の森を駆け回り遊んだものです。その森もロープを張られ入ることすらできない。現在の子供は昔とは様変わりしている印象。幼少の頃から森に親しみを与える環境を整えることから成長して林業に興味をもつ子も出てくるのではないかと感じます。</p> <p>② まだまだ国民に対する森林の理解が浅いと思うので、学校教育でどの学校でも森林散策で植物や木の説明、木工で何か作る、木を切ってみる、椎茸や木を植えてみるなどの授業を取り込んで、小さい子にも関心を持ってもらったら良いと思う。</p> <p>勿論、大人も。大人も森林にかかわると、何かメリットなどを付けたらもっと理解が増えると思う。(税金が安くなるとか、ポイントが付くなど、推進企業には税金一部免除など)</p> <p>② 子供の頃から身近に感じられることをやられているのに興味を持ちました。</p>	

質問3	質問3で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
	<p>③ 今までの活動はどちらかというと内向きであり、発信力も弱く、多くの人を知ることができなかったのではないかと思います。自然が周囲にあるのが当たり前と知っている日本人にいろいろ機会を与えて自然と触れ合う機会を作って欲しい。</p> <p>③ 「木の文化を支える森」を中心に地域住民等に対する普及啓発の取組は、次代に引き継ぐべき木の文化を守るために必要だと思います。</p> <p>③ 国民の、森林および国有林への関心はまだ薄い。国有林モニターをやっていると、周囲の人はその存在すら知らない。国民の関心がなければ、金の意味でも人の意味でも大きなことはなかなかできないと思う。</p> <p>③ ややもすると遠く感じる森林に対して、参加の手立てを知ることができた。</p> <p>③ 必ず多くの国民に知っていただくことが、極めて大切だと思います。</p> <p>③ 林業は専門家だけの閉ざされたイメージが強い。特に都会に住んでいると森林保全に関心を向ける機会ほとんどない。森林の整備をすることがどんなに生活にメリットがあるのか実際に参加して体験することはとても重要なので。</p> <p>③ 森林を残したいという思いがあるなら、国民が積極的にならないといけないと思うから。</p> <p>③ 国民の参加があってこそ国有林の意義があると思うので。</p> <p>③ 一人でも多くの国民が森林施策の一員として参加することにより理解が深まるからです。</p> <p>③ 国民ひとりひとりが森林の大事さを再認識せねばと思っています。</p> <p>③ 「木の文化を支える森づくり」の選定地が全国に25箇所あるという。ただ、図を見ると中国地方には一件もない。なぜなのか。宮島の原生林とか比婆山などあるのではと、素人目線では思うのだが。</p> <p>③ 児童には「ふれあいの森」を、学生や一般・企業に向けては「社会貢献の森」の存在やその活用法・目的・利用法等、地域でもっとアピールしてゆくべきだと思う。また、わが中国地方には「木の文化を支える森」が全くない。これは、なにか特別な理由があるのだろうか。</p> <p>③ 国有林の場所や森林が、都市生活に重要なファクター(要因)となっていることも、もっと知ることが重要と思います。</p> <p>③ 福祉施設などに顕著であるが、人の目が行きとどかないところにトラブルは起こりやすい。森林が身近に感じられ、国民の意識が向くようになれば、より有効な利用方法が見えてくると思う。</p>

2 国有林野の維持及び保存(P54～P73)

(単位：%)

質問4	(1)森林の巡視、病虫害の防除等適切な森林の保全管理(P55～P62)の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。		
①	森林の巡視及び境界の保全(P55～P56)	14	27%
②	森林病虫害の防除(P57～P58)	9	17%
③	鳥獣被害の防除(P59～P62)	29	56%
計		52	

A 3D pie chart illustrating the distribution of responses for Question 4. The largest slice is ③ (56%), followed by ① (27%) and ② (17%).

各地で発生している鳥獣被害がたびたび報道されていることと、狩猟の後にジビエ料理として活用されることに注目が集まったと考えられます。

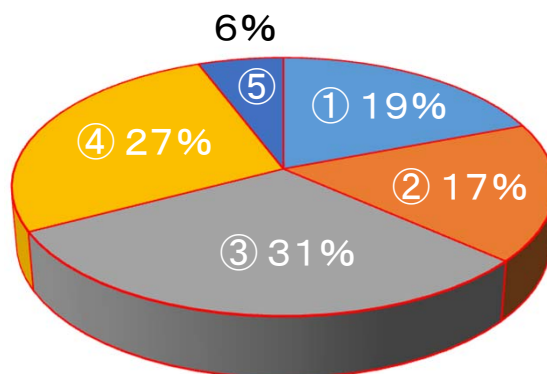
質問4	質問4で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
	<p>① 国有林の巡視及び境界の保全は重要なことであり、瀬波川上流の国有林巡視の際は同行したい。</p> <p>① 民有林を含めて森林の荒廃が進んでいるように感じる。所有者不明、後継者不在などにより更に混迷が進行すると推察される。国土保全への要求が一段と高まることから頑張って載きたい。</p> <p>① 森林の境界を保全することで、シカやクマを駆除しないで済むようになればと考えたので。</p> <p>① 事件事故災害の防止に繋がると思うので。</p> <p>① 不動産が負動産と呼ばれるようになってきた。森林は見回りをしっかりしないと、土砂崩れの復旧トラブル、杉の木やタケノコ、キノコなど盗賊に奪われたり事件の温床にもなりかねない。権利・管理関係をきっちりしておいてもらいたい。</p> <p>② 同じ三重県内でも南部の方で植樹や林内の清掃を行っていることは素晴らしいと思いました。特に子供が参加していることは、これからも続いてくれるとうれしいです。</p> <p>② 鳥獣被害の防除以外にも、ナラ枯れ等の森林病虫害の防除対策は本当に大変だと学ぶことができました。</p>

質問4 質問4で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。

- ② 地道な病虫害の防除こそが、森林を保つのに必要だと思います。
- ② 松くい虫による松枯れが進行していますし、樫の木も同様に被害が拡大しているから。
- ② マツ枯れやナラ枯れの寄生虫駆除の薬剤散布をしてもその薬剤に耐えて上回る害虫が出てくるのではないかと感じます。10年以上前に蚊の被害で悩むブラジル、マレーシアで日本の遺伝子操作で雌の蚊が生まれにくい技術を提供したという。その後、どのような推移をたどったかは知りませんが、マツノセイザンチュウなど遺伝子操作をした技術を応用したらよいのではないかと個人的には思います。しかし、自然界に及ぼす影響など反対意見を理屈をこねて言う学者などが多いお国柄の日本ですから難しいかもしれませんね。
- ③ 地球温暖化に伴って、森林の変化とともに、この鳥獣被害が拡大しており、この部分に関心があります。
- ③ 今はまだ被害の少ない地域にも「小林式」を普及させてほしい。
- ③ イノシシ、シカやクマによる森林被害への対応は必要と思う。
- ③ 昨年より豚コレラによりシカ捕獲頭数も発生県では減少していると思います。ジビエは、やはり相手が自然のためとても難しい課題だと思います。
- ③ 明確な答えは持っていないのだが、鳥獣が増えすぎることへの対策については、多少疑問を感じる。田畑や、そこで栽培している作物は人間のものだと思うが、森林は人間だけのものではないと思う。それなのに、人間の都合で森林に生きる動物を殺してもいいのだろうか、いつも思う。
- ③ 近年鳥獣による林業や農業への被害が日本各地で深刻化しており、先日も身近な人から実際に鳥獣の被害を受けているとの具体的な話を聞いたことから、どのような防除対策が行われているのか関心がありました。
- ③ 最近、ニュースでよく取り上げられている鳥獣被害について視点が広がった。
- ③ 鳥獣被害の防除についての記事は、たいへん参考になりました。
- ③ シカが増えすぎている実態について今回のモニターでよく学習したので。必要な頭数を保つため、若いハンターの育成も急務と考える。
- ③ 鳥獣被害の駆除において、職員の方に被害が出ない方法が大切。
- ③ シカやイノシシの食害対策は課題であるので。
- ③ ②と③のどちらにするか迷いました。②は樹木に寄生する虫によって枯れることであり、③は全国規模での被害が相次いでいるため。
- ③ 共生を考えながら、野生動物との共存は必要です。そのためには保護地区をもっと明確に管理する必要があると思います。
- ③ ジビエ活用推進の取組(四国・和歌山など)がいいですね。
- ③ 自然動物と人間との戦いがこれほどまでに大きな問題になっていることに興味を持ちました。
- ③ シカによる森林植生への食害、クマによる樹木の皮等の被害から、捕獲もやむをえない。そのため、シカの捕獲技術も開発されているとのこと。日々の努力がこのような箇所でも知ることができる。またジビエ活用推進に向けた取組もなされており、いただいた命の無駄のない活用も積極的にされている。とても共感できる。
- ③ 平成29年10月末時点で、ジビエ(シカ、イノシシ)を学校給食で利用している小、中学校はおよそ320校あるということなので、私はジビエ料理の学校給食での積極的な利用を期待します。
- ③ 移動式解体処理車と名前を見ただけでこわくなりました。中がどうなっているのかや、どのように利用される車なのかもう少し詳しくあればいいかなと思いました。
- ③ シカやイノシシだけでなく、鳥や他の獣たちによる被害が拡大している状況を実際に見たり、テレビ等の映像で見ると防除が追いついていないと感じます。
- ③ シカ肉の写真が掲載されていた。どんな味がするのだろうか。一度、食べてみたいが、近所で購入したり、食べられる店を見かけることがない。ジビエ料理をもっとPRしたら、鳥獣被害もあわせて理解が深まるのではないかな。
- ③ エゾシカへの取組など紹介していただき、貴局の活動の苦勞の一旦を肌に痛感いたしました。
- ③ 私は、広島県の鳥獣被害アドバイザーとして、ワイヤーメッシュや電気柵等の設置の指導を行っていましたが、イノシシ等にスキを見せない防除は難しく、森林の被害の防除もまた大変だと感じました。
- ③ 「野生鳥獣との共生を可能とする地域づくり」に大いに賛同したいし、それが理想だと考えているが、特に昨年の、近隣の鹿や猪の被害を見るにつけ、本当にそれが可能なのだろうかと考えてしまう。森林だけでなく、里まで下りてきて田畑を荒らしてゆく。たった一晩で、何か月もの畑作の労苦を無駄にし、それを防ぐためには、大きな費用がかかる。採算を考え畑作を諦めなければならない事態が起こりつつある。山から追い出して解決する問題ではなくなっていると感じる。行政との連携、猟友会との連携で、数そのものの調整が、真に必要な時期にきているのではないかなと思う。
- ③ 特に問題となっているのは、「シカ」となっていますが、捕獲はかわいそうとも、仕方がないとも両方思います。



質問5	(2)「保護林」まど優れた自然環境を有する森林の維持・保存(P63～P73)の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。		
①	「保護林」の設定及び保護・管理の推進(P63～P66)	10	19%
②	「緑の回廊」の整備の推進(P67～P68)	9	17%
③	希少な野生生物の保護の推進(P69～P70)	16	31%
④	地域やNPO等との連携による保護活動の推進(P71～P73)	14	27%
⑤	環境行政との推進(P71～P73)	3	6%
計		52	



林野庁でも環境保護活動を行っていることをご存じいただけたと思います。

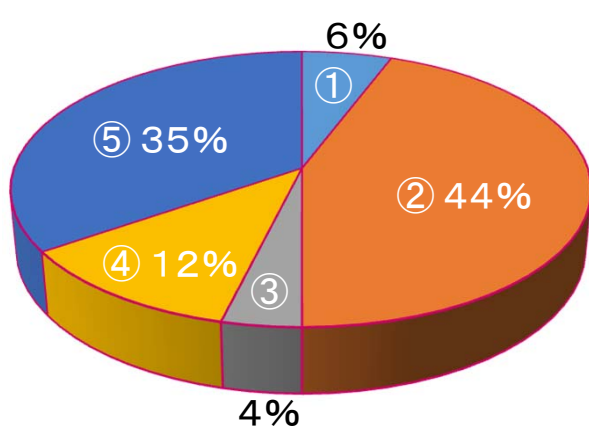
質問5	質問5で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
①	たまたま今年修学旅行で沖縄に行ってきました。やんばるの話をバスガイドさんなどから聞いて自然の多さとさまざまな生物が生きているとのことでした。この本に書かれているように人為を加えず自然にまかすのも大切であり、不必要な開発はして欲しくないと思いました。
①	国有林野の中でも特に貴重な森林を3区分の保護林に設定し、それぞれの区分に応じた厳格な保護・管理が行われていることに大変興味をわいてきました。
①	「保護林」という用語自体を初めて知った。
①	保護林にもいろいろな役割があるので、ここの保護林は何のための保護林かを明確にする。
①	国有林野における原生的森林生態系や希少生物の生育生息地等が多く残されているので。
②	図-10を見ると、瀬波川上流が緑の回廊エリアのように見受けられます。うっ閉した林分が多々あり、伐開等生息環境の改善を図ってほしい。
②	「緑の回廊」が全国に24箇所もあり、森林の保全管理が確実に向上し、ユネスコパークに登録されるなど、さらに野生生物にも配慮されていることなど、とても興味を持ちました。
②	緑の回廊は心地良いことを、今日初めて知りました。
②	質問4に続き野生動物による被害が多いのは特定の種類の動物が増え、食物連鎖がある意味崩れているのも一因である。クマタカのような肉食動物の保護は大切だと言えます。
②	是非、身近にこのような緑の回廊が実現できたらと思いつつ、民間の力も併せて一步一步、皆で共通認識を深めてゆきたい。
③	保護、増殖事業は必要です。その存在を知らせると荒らされる恐れがあるので難しいと思うが。
③	わが国の林野ならではの動植物が存在し、今後も保護できればと思った。ヤマシャクヤクやササユリ等、貴重な開花の様子が写真からよくわかった。
③	野生生物の保護は、たいへんいいことである。今後も続けてほしい。
③	小さな問題ですが、未来には大きな問題となります。(たぶん)
③	木曾森林ふれあいセンターが、希少植物であるササユリ等の保護のために、地元住民の保護活動に、行っている技術支援が実施されていることにも驚いたし、保護の目が広がり、希少植物が少しずつ増えていくことを願う。
③	希少な野生生物は後世に子孫を残すためにも、是非保護が必要だと思います。
③	希少植物が人の手によって守られていることがよくわかる内容でした。そのまま放っておくとイノシシなどによって絶滅してしまうなんてびっくりしました。がんばって守ってほしいと思います。
③	一度希少野生生物が絶滅したら再生が困難だから。
③	宮島には、多くの希少種が存在しているというのだが、果たして、訪れる人は、そのことを知っているのだろうか。希少種が多く残されている理由を知ること、宮島自体の成り立ちや、守られてきた環境を知ることにも繋がると思う。行政との連携を、こういうことの周知や義務化に繋げて欲しい。
③	昔、ハブ対策に台湾からマングースを野生に放った短絡的で愚かな沖縄大学の学者がいた。ヤンバルクイナなど貴重な野生動物や生物を保護しなければならないと思います。希少な野生生物の保護の必要性からも総花的ではなく具体例の表示が欲しかった。

質問5	質問5で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
	<p>③ 一定の種が絶滅の恐れがあるとすれば、生態系そのものに絶滅の要因がありますので。</p> <p>③ 希少生物の存在で森林の価値を高めるのは一つの良い考え方である。</p> <p>④ 人手不足の今、何でも行政頼みで事業を実施するのは、無理があると考えため。地域住民やNPOを活用し、自分たちの地域を自分たちで守る意識を高めることが大切だと感じます。</p> <p>④ 地域の人が自然環境に関心を持ち、保護活動をするのが大切だから。</p> <p>④ NPOとの連携による保全活動が多く実行されていることをモニターになって知ったから。</p> <p>④ より自治体レベルでの取り組みが求められるとは思いますが、人が動けるシステムを作らないといけないと思います。</p> <p>④ 地域やNPOとの連携がまだまだ不足しているように感じます。山や自然に関心を示さない、関心を持たない国民がたくさんいるように感じ、憤りを感じます。</p> <p>④ 関係機関と連携した自然保護活動の写りが掲載されていた。礼文島の小学生が外来植物を駆除している様子だ。子どもにとって、自然について考え、郷土愛を深めるきっかけになるであろう。このような取り組みをどんどんしてもらいたい。</p> <p>④ 地域との連携こそ、保護活動の近道だと感じました。</p> <p>⑤ 地球温暖化対策の観点では、連携がますます重要になると感じます。</p> <p>⑤ 地球環境問題の解決には森林部局だけで考えていても満足はいく施策にはならない。環境との連携がますます重要になってくる。</p> <p>⑤ 自然環境の保全は、農水省(林野庁)や環境省、文科省、総務省、国交省などの国の機関や地方自治体がこれまで以上に連携を密にして取り組む必要がある。</p>

3 国有林野の林産物の供給(P74~P83)

(単位：%)

質問6	(1)林産物等の供給、(2)国産材の安定供給体制の構築に向けた貢献、の事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。	
①	「道内の木材需給の見通し」の公表(P78)	3 6%
②	バイオマス発電用などの低質材の集材・販売の取組(P79)	23 44%
③	後継樹育成のためのヤナセ天然スギの伐採(P80)	2 4%
④	販路の拡大に向けた大径木のシステム販売の取組(P82)	6 12%
⑤	民有林と連携したシステム販売の取組(P83)	18 35%
	計	52



低質材の使用先としてバイオマス発電用燃料という販路が確立したことに関心が集まりました。

質問6	質問6で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
	<p>① 道内だけでなく全国においての情報提供は、理解しやすく発信していただきたいです。難しい言葉でなく理解しやすい公表にしてほしいです。</p> <p>② 木パイによる熱供給の検討を行っており関心があります。同時に、AB材の流通をどう活かすかに関心があります。</p> <p>② 石川県小松市にかが森林組合那谷工場があり、木質バイオマス発電に取り組んでいるため。</p> <p>② 木質バイオマス発電は、北海道でも行われているようです。可能かどうかわかりませんが、木材を資材としての利用・バイオマスに利用・セルロースナノファイバーとしての利用に分類して、多角的な利用を目指すことは可能ですか。(間伐材をどれに向いているか仕分けをする形)</p> <p>② 木材を資源として活用するのは有意義なことであり、その用途がバイオマス発電であることもたいへんいいことだと思う。</p> <p>② 木材の有効利用の観点が興味深かった。</p> <p>② 自然環境を利用することは環境に良いと考える。</p> <p>② バイオマス発電はもっと普及すべきと考えます。</p>

質問6	質問6で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
	<p>② 兵庫県でも平成29年12月に「5号木質バイオマス発電設備」(4万4千世帯分の電力)が丹波市で稼働したので、今後のバイオマス発展に期待しています。</p> <p>② 石炭や石油は、長い年月を経ないと作られません。そこでバイオマスを使用し、廃棄されている木材を再利用すれば有効活用できるから。</p> <p>② 木質バイオマス発電所というのがあるのを初めて知った。燃料を木材とする発電所であろうか。低質材ということばもあるが、聞き慣れない。間伐材と同じなのだろうか。資源として活用されていなかったというから、有効活用を期待したい。</p> <p>② 燃料材安定供給の重要性があると思うので。</p> <p>② 木材が売れる手段をどんどん構築してほしいし、国の補助金も強化して「これからのビジネス」として一般企業も参加できるようなシステムを構築すれば、山に入る人や企業がどんどん増えて、森林が活性化する。</p> <p>② 日本は森林資源に恵まれていますし、自然エネルギーとしても利用することは、重要と思います。</p> <p>② 森林を守るには、古民家同様に商業的な活用方法がある程度模索する必要があると思う。</p> <p>② エネルギーとして使われることはいいと思いますし、森林整備にもいいと思いました。美しい森林を作ってほしいです。</p> <p>③ 四国森林管理局が、ヤナセ天然スギの継続的な供給を休止したことは理解できる。供給計画の最終年であったこともあるが、後継樹の育成を考えられてとのこと。様々な樹木の育成に当たっても、長期的な展望を描いておられるのだと思う。</p> <p>③ 大きな幹のスギにびっくりしました。ただなぜ伐採しなければいけないのかが文章を見ただけでは、簡単すぎて理解できませんでした。</p> <p>④ 材木は大きく重いので現地で見ることが出来ない場合、ドローンによる空撮は大変有効だと思う。</p> <p>④ 大径木のシステム販売の意味を今まで全く知らなかったの、とても考えさせられた。</p> <p>⑤ 民有林との施業の集約化や間伐材の有効利用が必要と思う。</p> <p>⑤ 国有林での経験や開発技術を民有林へ展開と連携が必要である。特に、小規模の民有林への指導、助成などが望まれる。</p> <p>⑤ 民有林の有効活用を進めるうえにおいて、民間連携システム販売は不可欠な取組だと思います。取組の課題検証等も踏まえつつ、この取組の一層の拡大を期待します。</p> <p>⑤ 民有林と連携することで共通化できる部分が効率化できることがとてもよいと感じたので。</p> <p>⑤ 日本は民有林が多いので、無駄なく木材の有効利用を進め、国産木材の積極的な流通を図ってほしいと思います。</p> <p>⑤ 国にだけ頼るのではなく、民間の協力も必要だと思います。</p> <p>⑤ 民有林も国有林も、外国産のものに負けないようにするには提携が大事だと思います。</p> <p>⑤ 日本は、高性能林業機械等の開発ができるのに、有害鳥獣を近づかせない(樹木・植樹等)システムを民間会社や公的機関と共同で開発し、その上で民有林と連携しなければ、民有林を持つ者の負担が大きいのと感じます。その上でシステム販売を推進すべきである。</p> <p>⑤ 大変に凄い取り組みだと思います。大きく情報の展開、拡大にリーダーシップを発揮していただきたい。</p> <p>⑤ まず、「民有林」という呼称だが、「国有林」に対して「民有林」と呼ぶのだろうか、印象として「民」の字が付くことから、「民有林」イコール「私有林」との勘違いが発生するのではないだろうか。「民有林」に「行政の監理する公有林」が含まれていることも、やはり混乱しがちではないか。国とすれば、「国有林」と「それ以外」を区別すればよい話なのだろうが、目にする側とすれば、「国有林」「公有林」「私有林」と分けて記載された方が理解しやすいと思う。</p> <p>⑤ 伐採樹木が市場に出るので民有林と連携したシステムを取り入れるのは両者ともに至極当然と感じた。</p>

4 国有林野の活用(P84～P91)

(単位：%)

質問7	(1)国有林野の活用の適切な推進、(2)公衆の保健のための活用の推進、の事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。	
①	共用林野を活用したバイオマス材の販売(P86)	18 35%
②	森林景観を活かした観光推進の取組(P88)	16 31%
③	「嵐山植林育樹の日」の取組(P89)	10 19%
④	森林資源を活用した観光推進に向けたマッチング・セミナーの実施(P90)	8 15%
計		52

Category	Count	Percentage
①	18	35%
②	16	31%
③	10	19%
④	8	15%

観光資源として国有林を整備、活用することに多くのご意見が寄せられました。

質問7	質問7で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
	<p>① いかに森林と経済の両輪を整合的に回すかに関心があります。</p> <p>① バイオマスには竹も活用できたらなお良い。</p> <p>① かが森林組合那谷工場と連携し、バイオマス原料の安定供給について検討してはどうか。</p> <p>① 共用林野を活用したバイオマス材が最上町の新しい安定したエネルギーとなり、地域住民の冷暖房及び給湯システムになっていることは、森林・林業の活性化に繋がっていくものだと思います。</p> <p>① やはり収入の道が開けてこそその林業発展でもあるので、ますます販路を広げていって下さい。</p> <p>① 共用林野契約が全国的な展開になることを期待します。</p> <p>② 森林などの景観を観光資源としている国は多いと思いますが、外国人のより利用しやすい形でさらに活用して欲しいと思います。</p> <p>② 森林を観光に利用するという取り組みを知らなかったの、アクセスが良ければ(公共交通網がよければ)行ってみたいと思った。</p> <p>② 日本の貴重な森林の保護・管理を大前提としながら、この貴重な森林の景観を有効活用した観光推進の取組も必要だと思います。ただ、この取組を進めていく中で課題等が生じた場合は、素早い対応が必要だと思います。</p> <p>② 観光立国を目指す日本にとって貴重な資源だと思います。</p> <p>② 森林浴など体によいことが言われているので、そこに活用して観光を推進していったら、他の分野でもメリットがある。</p> <p>② 観光分野との関連も森林管理につながり災害抑止になると思うので。</p> <p>② 美しい森林の景観がいつまでも続くよう、私にもできることを積極的に行っていきたいと感じました。</p> <p>② そもそも、身近な地域に「レクリエーションの森」があるのかさえ分からない。あれば、子供会等でも活用できると思うのだが、ただ「ありますよ」では活用に繋がらない。「〇〇にありますので、こようことに活用してください」と丁寧な周知が必要なんだと思う。</p> <p>② 鹿児島屋久島には巨大杉を観察する為の自然遊歩道が存在する。森林に多くの人が踏み込むと樹木の根を踏み痛めてしまいます。森林を観光地化して多くの人が入り込むのはいかがなものかといつも感じています。</p> <p>③ 嵐山植林育樹の日を毎年開催されているということだが、比較的嵐山に近い場所に住んでいるのにまったく聞いたことがない。せつかくいい取り組みをされているのだから、もっと広く知らしめた方がいいのではないかと。</p> <p>③ 身近な場所なので具体的なイメージが湧いた。</p> <p>③ 環境破壊が問題となっているので、植林をすることは良いことだと考える。</p> <p>③ 近くで参加しやすい取り組みなのでとても興味がある。</p> <p>③ 景観保全のため、地域と一体となった植樹活動等が昭和57年から続いているとのこと。このような活動が継続実施されて、今の嵐山の景観が保たれているのだと思う。継続は最も大事だが、地域との連携も大事な要素だとも思う。</p> <p>③ 嵐山のきれいな景観の山は、国有林だということを知りました。とてもきれいなので、ずっとこの状態を維持してほしいです。</p> <p>③ 機会があれば、嵐山植林・育樹に参加したいと思います。モニター交流会で実施してほしいです。</p> <p>③ 嵐山の渡月橋は何回も行った名勝である。川、橋、山が織りなす風景は見応えがある。背景の山が国有林で、地域と一体となって保全活動をしているとは知らなかった。昔からの眺めを保つため、植樹活動を進めてもらいたい。</p> <p>④ 国有林を貴重な観光資源としての活用が良いと思う。新たなニーズの発掘に繋がればと思う。</p> <p>④ 外国人観光客も増加しており、森林と観光をマッチすることで新しい観光資源ができるため。</p> <p>④ 観光資源の活用を積極的に進めてほしいと思いました。</p> <p>④ 一人でも多くの方々にこよう方策アイデアを知っていただくことに、粘り強く活動を展開して欲しい。</p> <p>④ 観光地であれば森林を整備する意欲、予算も高まると思う。</p>

5 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全(P92～P95)

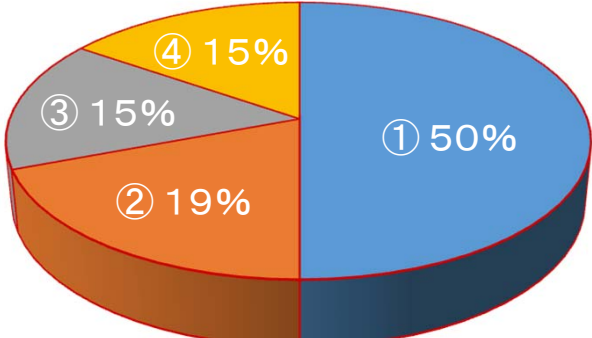
所有者不明の空き家や民有林の管理は、国民的な課題です。

質問8	ご意見等がございましたらご記入ください。
	<p>○ 都市でいう不在地主、空き家問題のようなものが民有林でも起こっており、手が入らないどころか、所有者もはっきりしないものが増えていくように聞きます。おそらく今後、国がそれを引き取るか、それとも何か別の対策が起こるのではと感じます。</p> <p>○ 民有林所有者の高齢化、過疎化による管理不足への対応も国土の保全上一体的な管理も重要と思う。</p> <p>○ 協定を結ぶことでより丁寧にかつ機能的に行っていると思います。さらに法整備をして所有者不明の民有林に対しても行うことが可能にできるようにすべきだと思います。可能なら持ち主不明で数年で国有化するようになればよりよいと思います。</p>

質問8	ご意見等がございましたらご記入ください。
	<p>○ 協定を結ぶことでより丁寧にかつ機能的に行っていると思います。さらに法整備をして所有者不明の民有林に対しても行うことが可能にできるようにすべきだと思います。可能なら持ち主不明で数年で国有化するようになればよりよいと思います。</p> <p>○ 国有林野に隣接、介在する民有林野での管理放置は、今後も大きくなっていく課題だと思います。間伐が実施されず外来種が存在するさまざまなことにダメージを受ける森になりつつあることが大きな問題だと思います。</p> <p>○ 外来種駆除の様子等を写真等を使って、もっと現場の様子や実態をわかりやすく伝えて欲しかった。</p> <p>○ 森林資源の保全に国有と民有の区別をする必要はない。</p> <p>○ 昨年頻繁に発生した豪雨、台風、地震による大災害が今後も発生する可能性は十分あることから、国有林野に隣接・介在する民有林野と国有林野との一体とした整備・保全是、極めて重要であり、この取組の一層の進展を期待します。</p> <p>○ 民有林野でもその保護には多くの費用が必要で、一人の個人ではその荷が重い。国有林野と一体運営することで作業効率を上げていくことが期待できる。また林業を続けていく意欲が低い地域でも国外の企業が水源池を含めた地域をお金で買われてしまうことも防ぐことができると考えます。</p> <p>○ 民間の人が所有している山林を経済的な事情で、整備や安全の確保ができない場合、行政が引き取るべきだと考える。</p> <p>○ 土地所有者の高齢化や所有者不明の土地等森林分野における問題が複雑化しています。山林は放置すると荒れたり、不法投棄をされたり。効率の良い整備、管理が求められていると思います。</p> <p>○ 一般の人(国民)から見れば国有も民有も同じですもの。</p> <p>○ 補助金などのことも含めて、民間が協力できるシステムが必要ではないだろうか。</p> <p>○ 国有林を守るうえで必要なら、大局的視野に立つのは有効だと思います。</p> <p>○ 外来種の駆除では、国有林、民有林一体となって実施する方が、駆除効果が向上するので、絶対に公益的機能維持増進協定制도가必要だと思います。</p> <p>○ 国有林野だけでなく、民有林野と協定を結んで管理していることは、とてもいいことだと思います。民有林野も整備したくてもお金がなかったり、どうしていいかわからないと思いますので、国の方からアドバイスをするようにしてほしいです。</p> <p>○ 前回も意見を述べましたが、民有林の被害負担や防止負担の費用を個人だけで賄うのは、限界があると思います。多少の補助金だけでも足りないと思います。</p> <p>○ 国有林と民有林との縄張りこだわらず、有効に森林整備を行う制度のイメージが図により、よくわかった。いい制度だと思う。ただ「公益的機能維持増進協定制」とは、名前が長すぎる。ちょっとお役所的な言い回しである。もっと短い、親しみがもてる名前にならないのだろうか。</p> <p>○ 公的機能の維持の為に必要だと思います。林業における物流も迅速になり、物量も増加すると思います。</p> <p>○ 「公益的機能維持増進協定制」について。本来、公有林・私有林において、その所有者は自己の責任における管理・維持が義務だと思うのだが、この協定が必要なほど、公有林・私有林の所有者は自己の森林の管理・維持に関して非協力的なのだろうか。管理されていない森が大規模な災害の温床になることは、近年、周知の事実であるにも関わらず、いまだ多くの公有林・民有林が手付かずのまま放置されている現状に憤りを覚える。森林の所在・所有者を明らかにし、その責任の在りかを明確にする作業に欠かせない「台帳」の作成に期待するとともに、積極的な管理・維持の必要性を周知することが急務だと感じる。放置していれば国が手を入れてくれる、ではないことを、同時に周知すべきだと思う。</p> <p>○ 私は相続した森が大分県にあります。71年前に誕生した折の杉林があるという。登記簿謄本を頼りに3年前に現地に行きましたがどこかわからなかった。無責任な自分に言う資格はありませんが国は大規模調査をして、持ち主把握や無責任者の意思確認等の実施をすべきと感じます。</p> <p>○ 民有林の管理は国有林以上に費用の問題がシビアで難しいと思う。補助制度や民間企業による保全推進の体制構築を進めてもらいたい。</p>

6 国有林野の事業運営(P96~P103)

(単位 : %)

質問9	この項目の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。			
①	民間委託の推進(P97~P98)	26	50%	 <p>※四捨五入により100%にはなっていません</p>
②	情報システムの活用(P99~P100)	10	19%	
③	計画的かつ効率的な事業の実行(P101~P103)	8	15%	
④	安全・健康管理対策の推進(P101~P103)	8	15%	
計		52		

民間委託の推進と更なる情報システムの導入を進めます。

質問9 質問9で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。

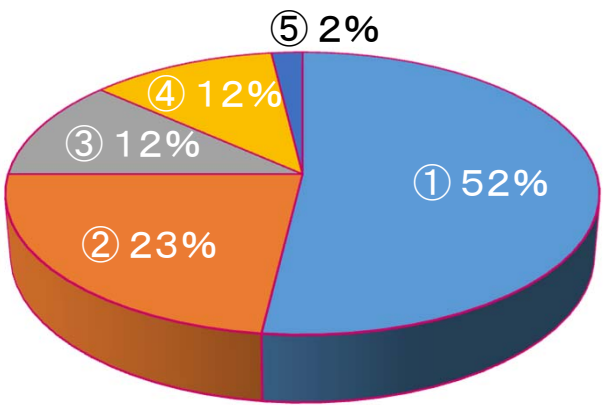
- ① 木材の搬出等は「民」にゆだね、「官」は防災等に集中していくべき。
- ① 民間に委託できる場所は、委託が原則だと思う。
- ① 民間委託を推進することで、民有林と共同事業を展開し易くなる。
- ① どのくらいを民間に委託すべきか、また管理すべき森林が民有林や所有者不明なものがあった時、どのように対処しているのかを聞きたいです。
- ① 民間委託という視点が、この分野でも行われていることを知り、興味を持った。
- ① 民間委託について、費用対効果面でベターな施策なのか、常に検証しながら進めていただきたいと思いました。
- ① 民間にできないことだけを行政機関が行うという流れになってきている。委託事業者については、地域の和だけを重視するのではなく、公平でやる気のある事業者が事業を行えるようにしてほしい。
- ① 将来にわたって考えたときには、国だけが動くのでは弱いと思います。民間の力を利用しましょう。
- ① 民間事業者に委託することは、民間の利益に繋がることで好ましいことですが、重大な災害が7件(平成29年度)発生しているということで、安全第一で現場巡視の強化も必要だと思います。
- ① 民間委託した場合のどれほどの費用がかかるのか、成果がどれほどあがるのか知りたいと思います。費用ばかりがかかって成果が出ないようでは困ります。
- ① 民間の活力を用いていけば、もっと森林も荒れずに管理していけるから。
- ① 明確に行政で、出来ないことを意思表示することも今後大切であると思います。
- ① 官民が一体となって事業を運営することは、今後より必要になると感じました。
- ① 広島県では民間委託をして伐採した木材を協定違反して市場に供給した事例が最近発生した事を思い出しました。民間にも異論人がいると感じた。
- ① もっと山に人を入れて、国有林で生活や儲けるなどの施策はどんどん必要。
- ① 最近では刑務所も運営管理が民間に委託されていて、うまく機能していると聞く。森林にも適用できないだろうか。
- ② IOTという時代は森林にもやってきていると思います。
- ② 小型無人航空機や国有林GISなどによる情報システムについては、今後ますますの有効活用を期待しています。
- ② 林業にもITを活用することに興味を持った。
- ② AI等今後更に技術革新され、より便利に、より効率的なシステムの構築が進められると思います。期待しています。
- ② 広大な国有林を管理するためには、国有林GISやドローンの活用は欠かせないと思う。様々な場面で積極的に、効率的な活用が必要だ。
- ② 情報をどんどん活用することで、国有林が整備、守られると思います。
- ② 立木本数などを小型無人航空機で撮影していることを初めて知りました。技術の進歩はすごいと思いました。
- ③ 日本国土の約7割が山林。効率的な事業の実行は不可欠。
- ③ 無駄な時間と費用の抑止が大事と思うので。
- ③ 産業としては、拡大再生産とはなりませんが、重要なファクターを多く有しておりますので、より効率的な事業は必要と思います。
- ③ 国有林野事業の債務に関しては、気が遠くなるほどの金額が示されているが、それを今までの方法で返済するとしたら、これもまた、気が遠くなるほどの期間が掛かることは容易に想像できる。林産物収入で返済してゆくとのことだが、もっと積極的な戦略が必要なのではないかと、素人でも思う。繰り返しになるが、外材に比べ、国内産の木材の優秀さや、一般に「高額である」と思われがちコストについても誤解を解き、工務店さんにもその点の理解を得、協力を仰げるような体制作りが必要だと思う。官公庁はCMをうてないといつまでも言っているのは、債務は減らないし、色々な企画をしても、周知されなければ、その苦労も徒労と化してしまう。一般に有益な情報を与えることを、制限する必要はないのではないだろうか。
- ④ とても考えさせられたことは、101ページから103ページの、職員の災害の発生状況や職員の安全・健康管理対策の推進の部分です。さらっと、内容と数値が記載されていますが、林野を維持する人はどんな部分が苦労されているのか、重傷とは、死亡事故とはいったい…?と考えさせられます。厳しい部分をピックアップすると、林野を維持する若手が少なくなるかもしれませんが、災害の未然防止や安全確保、職員のメンタル維持等の具体的な対策をもう少し掲載して欲しいと思いました。他人事ではなく、国民ひとりひとりが考え、支えあうきっかけとなって欲しいと思いました。
- ④ 先日、北海道で職員の方が国有林の倒木を調べていて、シカと間違えられて亡くなるという痛ましい事故があった。横の連絡が全く無いのが不思議で、二度と事故を起こさないためにどのような解決策をとったのでしょうか。
- ④ 労災、重大な災害等は数字のうえでは減っているものの、新しい若い労働力を今後も必要とするため安全確保とストレス量の把握、健康づくり対策には力を入れていただきたいです。

質問9	質問9で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
<p>④ 職員の安全や健康は、何より大事なことだと認識している。先日は、職員が猟銃の被害にあうという事件もあった。万全の対策を施してほしい。</p> <p>④ 職員の災害発生状況を見ると、死亡事故はないが、結構発生している。自然を相手にしているので危険な作業が多いであろう。災害ゼロの心構えで従事してもらいたい。</p>	

7 その他国有林野の管理経営(P104~P115)

(単位：%)

質問10	この項目の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。		
①	人材の育成(P105~P106)	27	52%
②	地域振興への寄与(P107~P110)	12	23%
③	東日本大震災からの復旧・復興への貢献(P111~P114)	6	12%
④	関係機関等との連携の推進(P115)	6	12%
⑤	未回答	1	2%
計		52	



※四捨五入により100%にはなっておりません

今、日本ではどこの業界も人手不足と言われています。林業の後継者育成について多くの方が関心を持たれました。

質問10	質問10で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
<p>① 有効な人材という観点で、どう人材を育成するかが、自立、自営できる林業につながるように思います。このままでは、補助金がないと林業が成り立たないことが半永久的に続くのではと感じます。</p> <p>① 森林総合管理士育成研修も引き続き実行してほしい。</p> <p>① 森林に関する仕事の人材不足は今後必ず直面する問題だと思います。管理などに資格を設けて、専属だけでなく業務として兼業できる形にしてはどうでしょうか。地域の方で守る形や大学や高校などの教員も仕事の一部を手伝うことでより森林に対する理解を深めることができるのではないのでしょうか。</p> <p>① 人材の育成の様子をもっと知りたかった(内容が少なくあまりよくわからなかった)。</p> <p>① 森林での職員の募集ポスターは、電車内でも見たことがある。多くの若者が森林業務に興味をもつことを期待する。</p> <p>① 日本の林業を取り巻く様々な課題がある中、日本の森林・林業を守り育てていくための専門的かつ幅広い知識や技術を有する人材の育成は、大変重要な課題だと思います。</p> <p>① 外国人の林業への就労者を増やす必要があると思います。また、若いやる気のある若者が林業をめざすようなシステムも必要だと感じます。</p> <p>① 林業は人手が不足しており、若手に継承していくことは、日本の自然環境にとって大切だから。</p> <p>① 高齢化により、未管理地域が増えることが考えられるので、人材の育成が一番大事ではないだろうか。</p> <p>① 人材育成は特殊なだけに不断の努力が必要だと思われます。</p> <p>① 国の森林は、やはり有能な人材がいてこそだと思います。</p> <p>① 森林技術総合研修所や各森林管理局において、地方公共団体職員との合同研修を実施したわけですが、その成果と今後の課題等もあれば教えてください。</p> <p>① 若手・若者を中心とした人材育成の早期問題解決が、今の、そして未来の林業を救う道に直結していると思います。</p> <p>① 林業を担う人材が少なくなっているの、是非力を入れて欲しいから。</p> <p>① 国有林野事業の幅広さに改めて驚かされる。にも関わらず、職員の減少傾向というのは、どういことなのだろうか。近年、災害も多く、それに係る人員も多く必要はなはずなのに、これでは、本来の事業が疎かになってしまうのではないかと危惧を覚える。林野庁は、縁の下の方持ちである。その仕事は、根本的な防災の要である。対処療法ではなく、健康な山・森林を作り、維持してゆくことが、最大の防災であるということの認識を改めて確認してもらいたい。増えこそすれ、減員など出来ないと思う。</p>	

質問10 質問10で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。

- ① 人材の育成もいいが、「食べれる林業の育成」も大事と思う。
- ② 地域振興を図ることが重要です。
- ② 四国森林管理局の事例でドローンを使った調査が紹介されていました。ドローンは災害現場や測量等人がなかなか行けないような所も調べることができ、短時間で状況をつかむことができる。今後大活躍しそうです。
- ② 菊池深葉国有林の復旧完了の写真がすごくわかりやすかったです。2年ぶりに菊池溪谷への立入が可能になったみたいですが、たくさんの方が来られるので、安全には十分気をつけてほしいです。
- ② 熊本地震後の復旧完了写真に目をみはった。地震のすごさが写真から伝わってきた。まだ復旧がされていない場所が山ほどあるのであろう。
- ② 身近な人たちが森林を愛することで、保全が進むと思う。地域振興のよい方策をふるさと納税制度と絡めるなどして関係者で検討してもらいたい。
- ③ 東日本大震災から8年目ですが、今なお多くの団体、地域の方々による復旧・復興が行われている。こういった活動をもっと私は、忘れてはいけないのだと思います。
- ③ 災害列島と言われる日本だけに、震災との関連づけの取組みの必要性を知った。
- ③ 東北森林管理局が海岸防災林の再生活動を、NPOや民間団体と連携して取り組んでいるとのこと。有効な連携を積極的に取り入れてほしい。また、様々なボランティアの力を借りることも考えれば、もっと大きなことができそう。
- ③ 復興の支援は、継続して行うことが大切であると感じたため。
- ③ 東日本大震災など凡人には思いもよらない広範囲な被害が発生する事もあるのだと痛感した。温暖化の影響を受けているのか毎年、国内で土砂災害が発生しています。林野庁が扇の要役で復旧、復興への貢献は大切だと思います。
- ④ ここが一番難しい。
- ④ 事業として様々な分野から様々な角度で対応する必要があると思うので。
- ④ 林業や木材産業ばかりではなく、他の省や県・市などの公有林、民有林と多く関わっていますので。

質問11 「国有林野モニター事業」についてお気づきの点がありましたらお聞かせください。

- 用語集はわかりやすく、大変便利である。
- 「森のひろば11月号」P7に加賀海岸自然休養林の記事。身近にある国有林なのに行ったことがない。橋立地区まちづくり推進協議会主催といえども国有林モニターの我々にも学べる絶好の機会だったのでは。声かけしてほしい。
- 年間として意見交換する機会が少ないと思う。いくつかの地域で分散して開催できればと思う。
- 昨年、国有林モニター会議に出席し、その後レポートを提出しました。さまざまなご意見があったことと思いますが、どのようなものであったのか、またそれらについて近畿中国森林管理局はどのような見解をお持ちなのか、差し支えなければお聞かせください。
- (国有林モニターに)国有林地内をパトロールを行わせて、国有林の具体的な状況をモニターさせては如何でしょうか。
- モニター会議は、可能なら地元のテレビ局もいっしょに参加して、番組のニュースなどに取り上げてもらえるなら、より国有林に対する理解が地域の人に深まるのではないのでしょうか。高校、専門、大学、関係省庁が連携し、横断的、統合的に森林の分野に取り組んで欲しいと思います。
- もっとこの事業をPRしてもいいと思います。今後も人から人へ伝わり、認知度をあげてほしいです。若い方(学生なども)にもモニターになっていただきたいですね。
- モニターになるといろいろなことがわかりますが、一般的には情報発信力が低いと思います。
- 年齢、性別のかたよりがなく広くモニターを集めることができれば、もっと意義のある制度になると感じます。
- 「林野」や「森のひろば」等の情報は、林業に携わっていないと、普段生活するにあたって知ることがないので、広報誌を自宅まで郵送していただいていた方がありがたいです。
- モニター会議をもっと増やしてほしい。モニター会議で行っている意見交換会は、現在のようにモニターどうしの意見交換を行わない形式であれば、あまりやる意味がないと思う。モニターと林野庁の職員との意見交換ならば、インターネットでもできる。
- お送りいただくパンフレット類は、身近な記事が多くて、興味をそそられるのですが、冊子類は素人にはレベルが高すぎます。不勉強な私のような者には、やや敷居が高く思えました。
- 農業についてはある程度知識がありましたが、林業についての認識はさほどありませんでした。今回、モニターを引き受けたことにより、いろいろな課題や課題に対する取り組み等、いろいろと勉強になりました。
- 最近、家族でジビエ料理を食べてきました。シカ肉はとてもおいしかったです。シカの数を減らすことはとても大切ですが、命ですのでできるだけ無駄が出ないような対応策を今後も施策の中で考えてもらえたら幸いです。
- 多くの人がモニターとなり、国有林のことが身近に感じられるようになるように、モニター事業の継続を望みます。
- 定期的に送っていただいている各種資料は図や写真が多く大変わかりやすいものでした。職場でも(子供達にも)他の人へ見せる機会がありよかったです。

質問11 「国有林野モニター事業」についてお気づきの点がありましたらお聞かせください。

- 頻繁にモニターの仕事があり、自分自身の意識は高まって来ている。あとは、実際に参加して、より自分事にして行くことが課題だと思う。
- モニターだけを集めて「ジビエ料理」の試食会を開くとかの人的な交流を開催するなど、色々な企画を実施してもらいたい。
- 国有林の「ミニ識者」がどんどん広まることを期待して、モニターの任期は長くて2年としたらどうでしょうか。それと、経費節減も考えて、連絡事項はできるだけメールでやり取りすればいいのではないのでしょうか。
- 子供たちや学生に森林に親しんでもらい、その大事さを実感してもらい、次代の担い手を作る事業の方が大事ではないでしょうか。
- 「こだま通信」、「森のひろば」については、以前に比べてイベントや研修会の写真や参加者の感想も多く取り入れられており、大変読みやすくなったと感じました。
- 今年は西日本豪雨があったためか、モニター会議が一度しかなく残念でした。やはりモニターと近畿中国森林管理局の方が意見交換をしたり、見学を通して見聞を深めたりする絶好の機会ですので、来年度は是非2回開催してほしいです。
- 一年間のモニター事業のあらましを、スケジュールも入れた具体的な中身を当初に知らせた方が良い。(必須か、任意かどうかも揭示)今の概略では、初めてのモニターは何をしたらよいのか戸惑うと思う。
- 地域密着した情報源を下に地道な活動のなかでも、結果を出していただきたい。協力を惜しみません。
- 幅広い分野、世代からの考え等が反映される要素がある活動だと思います。
- 枝打ちなど体験できるような会議の設定ができないものかと感じています。
- いろいろあれします、これしますと文字を沢山書くのもいいが、PDCA(PDCAとは「Plan(計画)」、「Do(実行)」、「Check(評価)」、「Action(改善)」の頭文字をとったもの)のように「何をやったら、どんな結果が出て、どんな課題が出た」など”結果”を書いてはいかげしょう。
- 住宅地に近い国有林の間伐が大切な気がしました。案外、「山が欲しいと思うけど、どうやって買うんだろう」と思っている人や企業も多い気がする。
- 日本の森林は世界レベルでも、めずらしく重要な要素がある生態系と思います。次世代のレガシーとなってほしいですね。
- モニターが森林・林業の実態を学び、広めることで、国民の中に森林を大切にする意識が芽生えてくると思う。
- 広報誌等の情報しかわからなかったのが、残念です。実際に山に森に行ってみたかったと思います。モニター会議にも参加したかったです。難しかったです。
- レクリエーションの森など、一般でも活用・参加できる企画があるにも関わらず、一般への周知が全くなされていないことに驚く。あまりにも情報が少ない。

以上、平成30年度国有林モニターアンケート(第2回)調査結果でした。ご協力ありがとうございました。

ここからは、モニターの方々からいただいたお問い合わせについての報告です。

お問い合わせ1 (3)国民の森林としての管理経営(P41～P53)の中の森林の整備・保全等への国民参加(P47～P53)

「木の文化を支える森づくり」の選定地が全国に25箇所あるという。ただ、図を見ると中国地方には一件もない。なぜなのか。宮島の原生林とか比婆山などあるのではと、素人目線では思うのだが。

児童には「ふれあいの森」を、学生や一般・企業に向けては「社会貢献の森」の存在やその活用法・目的・利用法等、地域でもっとアピールしてゆくべきだと思う。また、わが中国地方には「木の文化を支える森」が全くない。なにか特別な理由があるのだろうか。

歴史的木造建造物や伝統工芸などの「木の文化」を後世に継承していくためには、必要な木材や樹皮などの資材を供給する森林が不可欠です。「木の文化を支える森」は、こうした森林を守り育てる活動に共感し、参加したいという方々の声に応え、国民参加の森づくりを進めるため、活動のフィールドとして国有林野を一定期間活用していただく制度です。たまたま中国地方では活動に参加したいという要望がなかったためだと思われます。

お問い合わせ2 (1)林産物等の供給、(2)国産材の安定供給体制の構築に向けた貢献、の事例の中のバイオマス発電用などの低質材の集材・販売の取組(P79)

木質バイオマス発電は、北海道でも行われているようです。可能かどうかわかりませんが、木材を資材としての利用・バイオマスに利用・セルロースナノファイバーとしての利用に分類して、多角的な利用を目指すことは可能ですか。(間伐材をどれに向いているか仕分けをする形)

たとえば木材として木造建築物や河川の護岸整備等の材料とする。木材への加工途中で発生する切れ端や枝の部分などを木質チップに加工してバイオマス発電の燃料とする。そしてセルロースナノファイバーは、パルプのような木材からだけでなく、雑草や野菜・果物の絞りかす、おから、綿製品の古布、稲わらなどさまざまなバイオマスから取り出すことができるそうで、間伐材などの森林資源の有効活用をすることができます。

仕分けは可能だと思われますが、おのおの加工場やバイオマス発電施設が近接していることが条件となりそうです。

お問い合わせ3 (1) 林産物等の供給、(2) 国産材の安定供給体制の構築に向けた貢献、の事例の中のバイオマス発電用などの低質材の集材・販売の取組(P79)

木質バイオマス発電所というのがあるのを初めて知った。燃料を木材とする発電所であろうか。低質材ということばもあるが、聞き慣れない。間伐材と同じなのだろうか。資源として活用されていなかったというから、有効活用を期待したい。

木質バイオマス発電とは、木質バイオマスを燃やし、タービンを回して発電する仕組みを指します。発電方法は、製材端材や木質チップを直接燃焼させて、発電させる「蒸気タービン方式」と、木質バイオマスをガス化して、燃焼させる「ガス化エンジン(ガスタービン)方式」に分かれます。

低質材とは、建築用材や土木用材に向かない、細くて曲がった形状の木材のことです。

お問い合わせ4 6 国有林野の事業運営(P96~P103)の中の安全・健康管理対策の推進(P101~P103)

林野を維持する人はどんな部分が苦労されているのか、重傷とは、死亡事故とはいったい・・・?と考えさせられます。厳しい部分をピックアップすると、林野を維持する若手が少なくなるかもしれませんが、災害の未然防止や安全確保、職員のメンタル維持等の具体的な対策をもう少し掲載して欲しいと思いました。

昨年11月に北海道において、狩猟者に野生鳥獣と間違われて林野庁職員が誤射されるというあってはならない事案が発生しました。現場で作業を行う時は、必ず複数で行うこととし、万一災害発生の場合、直ちに発生状況が全職員に周知され、災害回避の方法等が共有されます。また日頃から、森林の中で遭遇しやすい災害事案に対する対処の方法についての準備が周知されています。

お問い合わせ5 7 その他国有林野の管理経営(P104~P115)の中の人材の育成(P105~P106)

人材の育成の様子をもっと知りたかった(内容が少なくあまりよくわからなかった)。

平成28年5月に閣議決定された「森林・林業基本計画」において、本格的な利用期を迎えた森林資源を活かし、新たな木材需要の創出や、主伐と再造林対策の強化等による国産材の安定供給体制の構築を車の両輪として進め、林業・木材産業の成長産業化を図ることとしています。

さらに、これらを実現するために必要となる森林総合監理士、森林施業プランナー、現場技能者については、引き続き、育成・確保を推進するとともに、現場の抱える課題に適切に対応できる能力と現場に立脚した実践力の向上を図ることとしています。

このうち、森林総合監理士については、森林・林業に関する専門的かつ高度な知識及び技術並びに現場経験を有し、長期的・広域的な視点に立って地域の森林づくりの全体像を示すとともに、市町村等への技術的支援を的確に実施できるよう、その育成を進めています。

また、国や都道府県等の森林総合監理士等が相互に連携できるような体制づくりも進めています。

お問い合わせ6 7 その他国有林野の管理経営(P104~P115)の中の人材の育成(P105~P106)

森林技術総合研修所や各森林管理局において、地方公共団体職員との合同研修を実施したわけですが、その成果と今後の課題等もあれば教えてください。

森林技術総合研修所の研修では、市町村等の民有林担当者と森林管理署等の国有林の職員が同じ研修を受けていただいております。研修という短い期間ではありますが、一緒に過ごすことで、受講生同士のつながりが生まれ、受講生は地域に戻った後でも、民有林と国有林のつながりを作る一助となっており、地域における民有林と国有林の連携の第一歩になることがあります。

課題としては、受講者の理解度を高め、より実践で活用できるためのプログラム作りが求められています。